



三友会だより

第61号

平成25年1月22日発行

宮崎市神宮西 1-49-1

TEL : (0985)32-2234

<http://www.sanyu-kai.jp/>

発行者 石川 智信



還暦に想う

石川 智信

正月に平和台公園を散歩するのは、妻が退院して以降、二人の習慣になっている。というよりも妻の方が強引に決めてしまったようである。ただ毎年、妻の歩く速度が速くなってきている。さらに私が妻の右手を支えさえすれば、杖を使わずに200段近い階段の登り降りができるようになった。新たな年明けの日に、昨年のリハビリの成果を確認し、今年の新たな目標を見据えるための儀式なのであろう。一方で私の方が階段の昇降で息が切れるようになってきた。今年の1月21日、私は還暦を迎える。多くの先達から聞かされてきた老いの気配を、私も実感する年になったのである。

妻はクモ膜下出血で倒れて以降、年をとらなくなった。53歳の誕生日を集中治療室で迎えたあの頃、まだ意識は判然とせず、誕生祝いにベッドのまくら元に小さなガラス細工でできたくまのプーさんを置き、「誕生日おめでとう」とささやいても、返事はなかった。それでも生きていることに、だだひたすら感謝し、来年の誕生日は家で祝えますようにと祈ったものである。あれから4年と4カ月が経過し、妻は確実にパワーアップしている。そして多くの人が言われるように、むしろ若返っている。生きていることに素直に感謝し、ハンディを負ってしまったことを愚痴らず、再び診察室に戻るという目標を持っているからであろう。

一方でそのパワーにたじたじとなっているのが私である。妻が倒れた頃は、妻を支え、癌の終末期を生きていた母を自宅で診ながら、患者さんを診療し、そしてこの三友会を維持していくことに必死であった私に、自分が年老いていくことを考える暇はなかった。しかしながら三友会のスタッフの素晴らしい団結力と、つぎつぎに診療の支援に駆けつけて下さった医師達のおかげで、再び三友会は落ち着きを取り戻すことができた。ただ人は贅沢なものである。少し息をつけるようになると、以前のがむしゃらさを失い、もっと楽をしたくなる。そう思い出した時に、一気に老いの影が忍び寄ってくるのであろう。

そんな様々な思いで揺れている私を尻目に、妻はさらなる進化を目指している。歌手デビューである。昨年は宮崎大学医学部の同窓会をはじめ、いろいろな会合の席で歌を披露させていただいた。一つの曲を覚えるのに数カ月にかかる。歌詞を、新たに作りつつある言語中枢に定着させるために、何回も何回もピアノの前で楽譜をなぞって確かめている。そして皆様の前で無事歌い終わると、「どーお？」と訊いてくる。60点と答えると、「えー、どーして」と口をとがらし、100点と言え、「ばんざーい」と喜色満面の笑顔を見せる。

そんな妻の前向きな姿勢が、還暦の私を後押ししてくれる。そして彼女の歌声が、在宅医療を担う新たな仲間を呼びよせてくれるような気がしてならない。



イタリア旅行紀行 その3

石川万佐子

イタリア旅行の中ほどで、トスカーナへと向かいました。
トスカーナの伝統、多くの自然に触れることができ、思いで
深い土地となったため、今回はこの土地での体験も、
綴らせてもらいます。トスカーナ地方は世界遺産の宝庫です。
よく知られているピサの斜塔やシエナ、700年の長い年月も
懸けて人々が畑に作っていたオルチャ渓谷等がそうです。
起伏の小さい傾斜のなだらかな丘陵地帯は、人間の
手で作り出したとは、思えないほど広大で美しい景観で



トスカーナの麦畑と放牧されている羊たち（羊のチーズで有名）

あり^{あつ}倒^りされました。

アグリツリスモでは、私^{わたし}がイタリア旅行中に飲^のんだ^{ちやうど}中で^{なか}最も^{もっとも}気に入^きったブルネッロに出^で会^あいました。そこでのトスカーナの伝^{でん}統^{りゆう}料^(ワイン)理^りはワインとの相^{あい}性^{せい}も良^よくても美味^{おい}しかったです。ここで頂^{いた}いたご馳^ち走^{そう}は日本^{にほん}に帰^{かえ}てからも何^{なん}度^ども思^{おも}い出^だします。それで、「イタリアの美味^{おい}いワイン」という題^{だい}で絵^えを描^かきました。その絵^えは、イタリアで刺^し身^{げき}も受^うけてから描^かいた絵^えで、これまでよりも立^{りつ}体的^{てき}で興^き行^{ぎやう}にもこだわって描^かくことができ、満足^{まんぞく}いく作品^{さんひん}となっています。



アグリツリスモのレストラン

また、ピエンツァではキョストロに宿^{しゆく}泊^{はく}しました。修^{しゆ}道^{どう}院^{いん}を改^{かい}装^{さう}して作^{さく}られたホテルで、庭^{にわ}からオルチャ溪^{けい}谷^{こく}を一^{いち}望^{ぼう}することができました。普通^{ふつう}のホテルとは、



ホテルの中庭

ちがひ 独特な雰囲気のある空間で神秘的なものを
感じ取ることができました。

ピエンツァの街には坂が多く、ゆっくりと散歩していると、革職人のいる店があり、その人が作った革の手帳を買ったら私の名前を彫って

もらうことができました。

私が「ハッピー」と言ったら、やさしい目をしたその年
老いた職人さんは、

いいラッキーですと
言われました。



革職人はウイットに富んだ人でした

トスカナの田舎はワインや料理の美味しさ、外で
食べた食事の楽しさ、丘陵地帯の風景、ピエンツァの
町並の美しさをも今でも懐かしく思い出します。



ピエンツァの街への入り口



イタリア人は外で食事をするのが好き

新年のご挨拶



医療法人社団 三友会グループのスタッフより、新年のご挨拶を申し上げます。



去年は4月に新メンバーを迎え新鮮な気持ちで業務に取り組む事ができました。今年はこの4人でさらにチームワークと、絆を深

め笑顔と思いやりをもって接してまいりたいと思います。(受付)



レンゲの花言葉の様に「あなたがいれば私の苦しみは和らぐ」と感じてもらえるような看護部でありたいと今年1年更に地域のため頑張ります。(外来・訪問)



去年は新しい職員も加わり色々とお世話になりました。今年も皆で力を合わせて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。(リハビリテーション部)



あけましておめでとうございます。
新しい年も調理師一同、心をひとつにして取り組んで参ります。(厨房)



去年は「辰のごとく昇る様」取り組んで参りましたが至らないことも多く御迷惑をかけるばかりでした。今年はその取り組みが「実(己)を結ぶ様」職員一丸となって頑張ってまいります。(デイケア)



今年もモットーである「スマイル、ハート、テクニック」を心掛け、ご家族、ご利用者様の力になれるよう職員一同精進していきたいと思います。宜しくお願いします。
(祇園デイサービス)

『第27回全国老人デイ・ケア研究大会 2012 in 名古屋を振返って』

いしかわ内科 作業療法士 甲斐 詩織

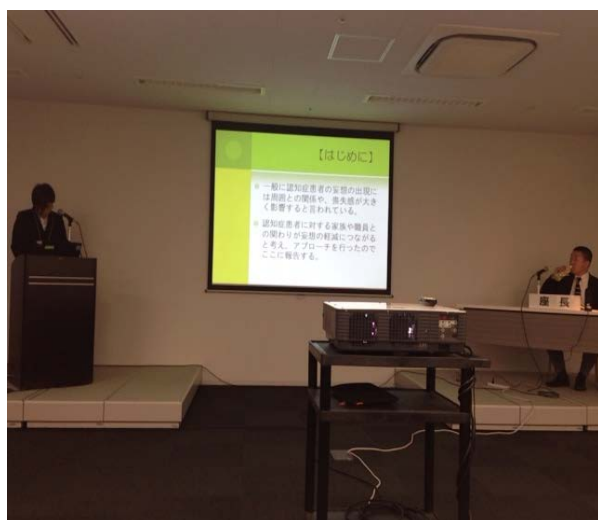
今回、平成 24 年 11 月 30 日から 12 月 1 日の 2 日間に名古屋で開催されました第 27 回全国デイ・ケア研究大会に参加させて頂きました。一日目は、デイ・ケア協議会会長らによる講演や熱心な討論が行われ、二日目は各会場でそれぞれのテーマで様々な取り組みを行っている施設からの発表を受けて、ディスカッションが行われました。

本大会は通所リハビリテーションに関わる人たちだけでなく、介護保険制度に関わる従事者・行政の方々にとって関心が高く、職種に関わらず活発な意見交換が行われていました。各施設が様々なアイデアを盛り込んだ研究や取り組みを



いしかわ内科からは、『BPSD（妄想）を呈した症例に対するアプローチ～1日1回のありがとう運動～』という題目で発表し、座長からのご質問やご意見を頂きました。今回テーマを決めるところから評価・考察等を行っていく中で、見えてくる疑問点や着眼点、それに伴い自分の視野の狭さや未熟さを実感しました。しかし、その中でも研究することの大切さを知ることができ、利用者様はもちろん、たくさんの方々のアドバイスや支え、協力があったからこそ大会に臨めたのではないかと思います。

今回デイ・ケア大会に参加したことで、デイ・ケアにはたくさんの可能性があることが分かりました。身体機能改善、ADLの拡大、QOL・意欲の向上など視野を広げ、現在行っているリハビリも慢心することなく、ご利用者様が少しでも過ごしやすくなるようお手伝いをさせていただきながらいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。



行事 目白押し！

★秋祭り★



高岡町からのひょっこ部隊が祭りを盛り上げてくださいました！笑顔が絶えませんでした。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

★クリスマス・忘年会★



いしかわ内科初の鍋パーティー！おいしかったです。クリスマスにちなんだうたを歌ったり、職員の出し物やプレゼントと盛りだくさんでした。

★もちつき★



恒例のもちつきも皆様のご協力のおかげでおいしいお餅が出来上がりました！！みなさま本当にありがとうございました。

「おはよう、あ〜ん運動」

祇園デイサービスセンターでは、去年から「おはよう、あ〜ん運動」という運動を始めました。どんな運動？と思うかもしれませんが、簡単に説明しますと

- ①来所して、職員と「おはよう！」と挨拶します
- ②手洗い場へ移動し、手洗いうがいをしますが、その際に職員に「あ〜ん」と口を開け見せます。
- ③口の中に朝食等残っていたら、その場ですぐに歯磨き♪

なぜこの運動をするかといいますと、口の中に残渣物（朝食の残りなど）があるままりハビリなどの運動をすると歯周病や肺炎等、二次的合併症を引き起こす可能性があるためです。



最初は人前で口の中を見せる恥ずかしさもあるためか、中々定着しませんでした。がしばらくすると皆様、「あ〜んしてください」の声掛けに大きく口をあけて下さるようになりました。

この運動、高齢者の方々だけでなくお子様にも大切な運動だと思いますので、是非実践してみてください♪かくいう私は子供はおろか嫁さん探しから、ですが・・・

文責・祇園デイサービスセンター 仁井・神毛



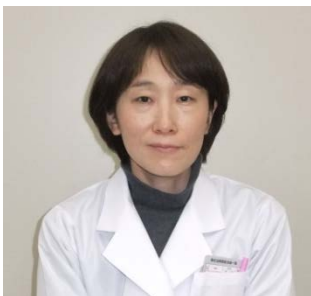
平成 24 年 12 月 9 日に外来看護師の松永真希さん(旧姓宮崎)と松永誠さんの結婚式が行われました。

これからのお二人の末永いお幸せを心よりお祈り申し上げます。

真希ちゃん、誠さんおめでとう!!



新人紹介



医師 片寄 恵子

7月からお世話になっております。総合病院ばかりに所属していたので不慣れな点多々ありましたが、お陰様で徐々に慣れてきたよう

うに感じます。患者様に頼りにしていただけるような診療を心がけたいと思っています。



看護師 若林 百代

1/15からデイクアに勤務する事になりました。約3年ぶりにいしかわ内科に帰って来て来ることができてとても嬉しいです。分

からないこともたくさんあるので、困った時は助けて下さい。よろしくお願い致します。